



新Gravioは、AI x IoT製品

Asteria

新たな研究開発体制

プロダクト x テクノロジーで、先見性を優位性に

Design



新設チーム

Data

AI/ML (人工知能)活用ラボ

Device

デバイス連携活用ラボ

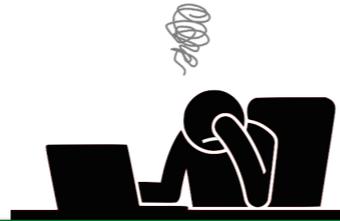
Decentralized

ブロックチェーン活用ラボ



どんな企業でも使えるIoTを

IoT



現時点ではIoTは「工場」「医療」「災害対策」など特定領域でしか普及していない

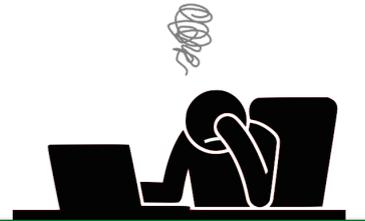
アステリアが狙うのは一般へのIoT普及

オフィスIoT

ショップIoT

スクールIoT

AI (Machine Learning)



現時点ではクラウド処理が主なため

- ・通信により全体処理速度が低下する
- ・個人情報のセキュリティ確保が難しい

「認識/推論」は現場（エッジ）処理が適切なケースも多い

エッジ版ASTERIAとも言える 「Gravio」で実現！



Gravioは

IoT利用の3つのハードルを解決

実装

エンジニアで
無ければ無理

- ✓ ノン・プログラミング
- ✓ Win, Macでも稼働

費用

見積もりが
思ったより高い

- ✓ 月額500円~

機器

何を選んで良いか
わからない

- ✓ IoT機器無償添付

専門家で無くても使えるIoT



ソフトバンク流で普及促進



Yahoo! BBは、ADSLモデムを無償配布して、高速インターネットの普及を加速させた。



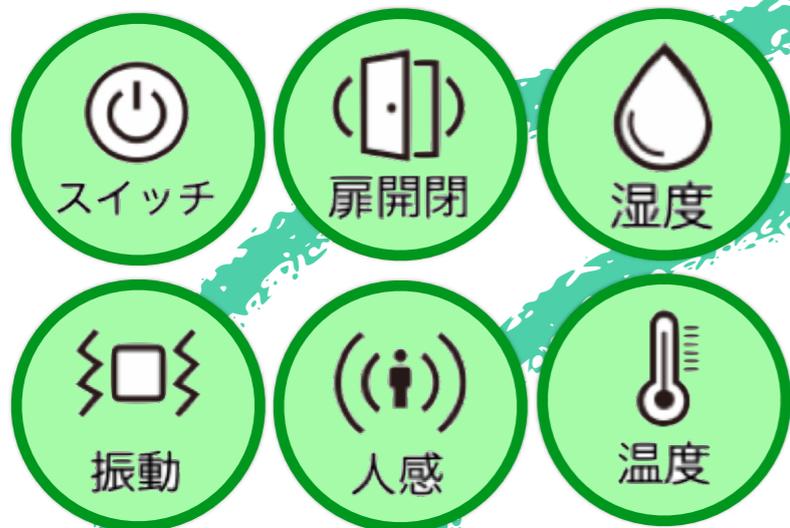
GravioはIoT機器を無償配布[※]して、普及を加速!!

※有償版ユーザーに無償貸し出し



これからはエッジウェアが台頭

センサー機器/制御機器



AI搭載
(Machine Learning)

Gravio
エッジウェア

クラウド

クラウドサービス連携

スマホ等
での管理



既存システム
との接続



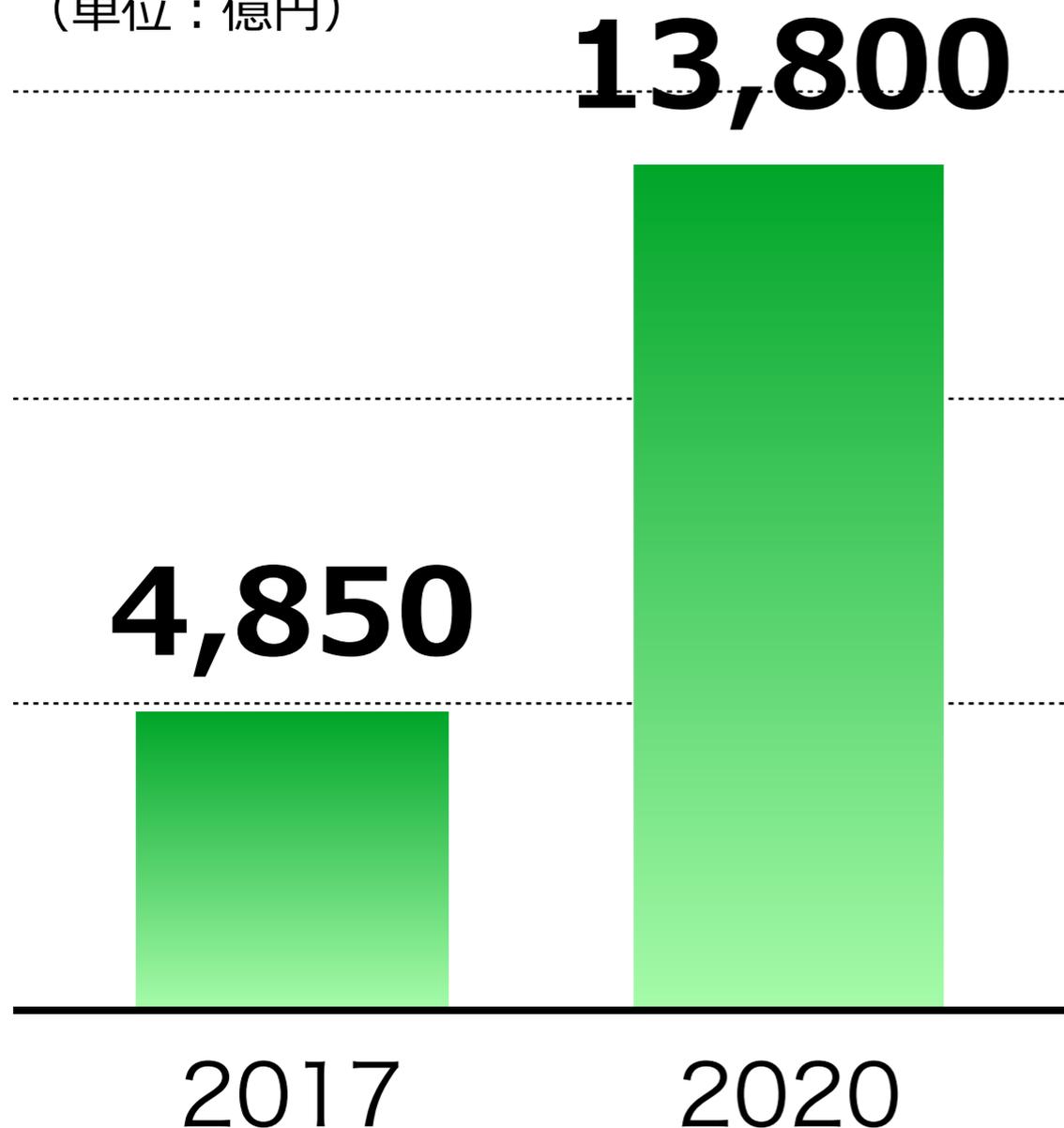
ハードウェア (IoT) や通信が主導ではなく
エッジウェアがハブとなって様々なものを繋ぐ



IoT市場はこれから大きく成長

IoTのビジネス活用の市場規模

(単位：億円)



3年間で

2.8倍に拡大

出典) ITR「IoT投資実態調査」2017年10月